

# 99-161

## 問題文

糖尿病治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ミグリトールは、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害作用と $\alpha$ -アミラーゼ阻害作用により食後高血糖を抑制する。
2. グリベンクラミドは、血糖依存的にインスリン分泌を促進する。
3. ビオグリタゾン は、アディポネクチンの産生を高め、インスリン抵抗性を改善する。
4. メトホルミンは、AMP依存性プロテインキナーゼを抑制することにより、肝臓での糖新生を抑制する。
5. ミチグリニドは、スルホニル尿素(SU)構造を持たないが、膵 $\beta$ 細胞のSU受容体に結合する。

---

## 解答

3, 5

## 解説

選択肢 1 ですが

ミグリトール（セイブル）は、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬（ $\alpha$ -GI）です。特徴として、 $\alpha$ -アミラーゼ阻害作用はありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

ちなみに、 $\alpha$ -アミラーゼ阻害作用がある  $\alpha$ -GI は、アカルボース（グルコバイ）です。 $\alpha$ -アミラーゼが阻害されると、でんぷんが未分解のまま大腸に到達し、放屁などの消化器症状の原因となります。

選択肢 2 ですが

グリベンクラミドは、SU 薬です。血糖非依存的 血糖降下薬です。よって、選択肢 2 は誤りです。ちなみに、血糖依存的な糖尿病治療薬としては、インクレチン関連薬（シダクリプチン（ジャヌビア）など）があります。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

メトホルミンは、AMP 依存性プロテインキナーゼ系を活性化させます。抑制では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 3,5 です。